

「地域経済活性化と再生可能エネルギー —北海道モデルへの提言—」

現在の日本の一次エネルギー供給高(消費高)の推移をみると、石油・石炭の割合が相対的に減少し、天然ガスや原子力が増加傾向にあることが明らかです。しかしながら、昨年(2011年)の東京電力福島第一原子力発電所での事故後、ドイツがいちはやく脱原発を決議したこともあり、日本においても、原子力発電所が停止したままでも、エネルギー供給が充分可能なのかどうかということに高い関心が集まっています。

セミナーでは、環境経済学・産業技術論の第一人者である吉田文和氏をお招きし、北海道が風力、太陽光、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーの宝庫であること、環境保全に留意しながら、それらの利用による地域経済活性化が期待できること、という氏の提言について、現状や今後の展望などを含め、広くお話をうかがいたいと考えています。

日時

平成24年7月6日(金) 午後4時30分から午後6時

場所

釧路公立大学1階 第1会議室
(釧路市芦野4丁目1番1号)

講師

吉田文和氏(北海道大学大学院経済学研究科教授)

京都大学大学院博士課程修了、経済学博士。最近の著作には『脱原発時代の北海道—これからのエネルギーの話をしよう』北海道新聞社、2012年、『グリーン・エコノミー—脱原発と温暖化対策の経済学』中公新書、2011年、『循環型社会—持続可能な未来への経済学』中公新書、2004年など多数。ドイツ、デンマーク、オーストリアなど、海外への現地取材も長年おこなっている。

お申込み方法

7月3日(火)までに別紙「参加申込書」をEメールまたはファクシミリでお送りください。

お申込み・お問合せ先

釧路公立大学 地域経済研究センター

メールアドレス: r-center@kushiro-pu.ac.jp

ファクシミリ番号: 0154-37-5376

電話番号: 0154-37-5325